

2017年2月28日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

TSR - Press Release

法人向け国内モバイル IoT/M2M 市場は 2021 年に 4,000 万回線近くに達する

～ 2020 年までは高成長が続くが、2021 年は反動で純増数が一時的に落ち込む見通し ～

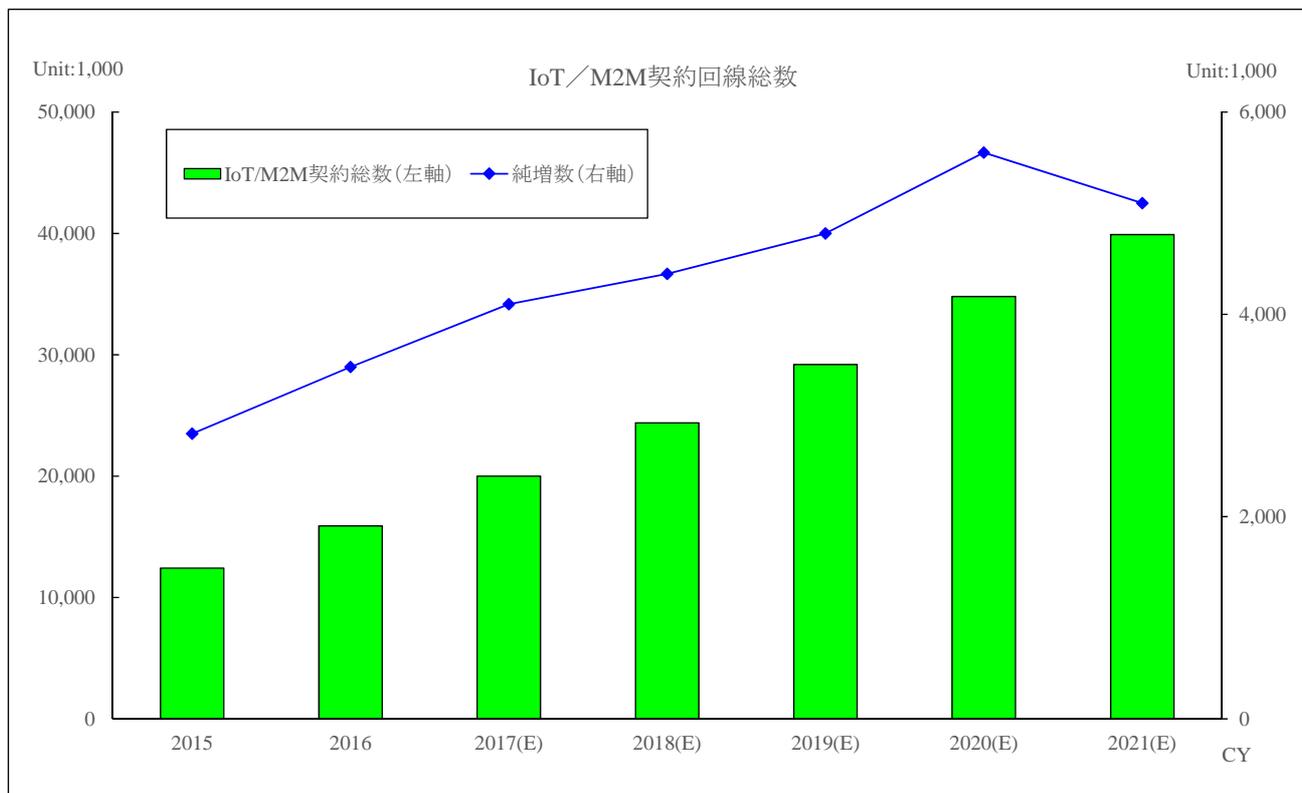
株式会社テクノ・システム・リサーチは、国内における携帯電話や PHS、WiMAX などのモバイル回線を利用した M2M (Machine to Machine) 市場に関する調査報告書『国内モバイル IoT/M2M 市場動向調査 (2016 年版)』を 2017 年 2 月に発刊致しました。

2016 年末時点で、法人向け IoT/M2M サービスで利用されているモバイル回線の契約数は 1,600 万件近くに達した。今後、2017 年末には 2,000 万件に、2020 年末には 3,500 万回線近くになり、翌 2021 年末には 4,000 万回線近くに達してモバイル契約回線全体の 15%以上を占める見通しである。

現状、スマートメーターといった大規模事業や Industrie 4.0J 関連、さらに 2020 年の東京オリンピック & パラリンピックに向けて様々な分野で IoT/M2M を利用したサービスの導入が進んでおり、そのペースは昨年版の資料で立てた予測を上回る勢いで推移している。また、車載関連でも 2016 年から始まった大型車に対する規制強化や、2020 年頃に本格導入が進む自動運転車両の普及が市場全体の成長を大きくけん引すると見込まれる。

この他に成長が期待されるのは、高齢者の介護や見守り用途を含めた医療・介護・ヘルスケア関連であり、2021 年には市場規模が 2015 年比で 10 倍以上に成長するものと見込まれる。また、特定の用途に限定されないが、ISDN 回線サービスの終了を控えて、モバイル回線への移行も積極的に進められており、一時的に市場の成長をけん引するものと予測される。また、実証実験の段階だった案件が徐々に本格運用へと移行し始めており、2016 年より 1 案件あたりの規模も着実に増えてきている。

市場参入ベンダーの動向としては、通信機器や SI 事業者、サービス事業者さらに仮想移動体通信事業者 (MVNO) 等で、新興事業者の勢いが目立ち始めており既存ベンダーの市場を新興ベンダーが侵食するケースが見られる。



※2021年は2020年までの高成長の反動で純増数が前年比でやや落ち込むことが予測される。

【資料紹介】

『国内モバイルIoT/M2M市場動向調査(2016年版)』はIoT/M2M市場について、契約回線数を定量データとして通信事業者(MNO及びMVNO)や通信機器メーカーをはじめとした市場参入ベンダーの動向のほか、IoT/M2Mの利用カテゴリーを以下の8つに分けて、各カテゴリーについての概況及び長期的な動向についてまとめております。

※8つのサービスカテゴリー

- ・在庫・売上/情報管理
- ・遠隔監視・遠隔管理(インフラ管理、セキュリティ、フィールド監視等も含む)
- ・車載用途全般(位置情報管理、運行/動態管理)
- ・決済関連
- ・業務用端末
- ・デジタルサイネージ
- ・医療・介護・ヘルスケア
- ・その他(上記のサービスカテゴリーに入らない用途)

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ

第3グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp)

TEL:03-3866-4505